

令和6年度 第3回港区区政会議 安心安全・まちづくり部会 議事録

1 日 時 令和7年2月27日（木） 午後7時～

2 場 所 港区役所5階会議室

3 出席者（委 員） 対面：上濱委員、北山委員、後藤委員、中西委員

山岸委員

（関係者） 対面：港警察署 谷口氏

WEB：港消防署 牧野氏

（港区役所） 対面：山口区長、磯村副区長、西堂協働まちづくり推進課長

細江エリア開発推進担当課長、五十嵐総合政策担当課長

扇谷協働まちづくり推進課長代理

- 4 議 題 （1）令和7年度 予算(案)について
（2）港区エリア別活性化プランの更新案について
（3）その他

○扇谷協働まちづくり推進課長代理 皆様こんばんは。定刻となりましたので、ただいまより令和 6 年度 第 3 回港区区政会議 安心安全・まちづくり部会を始めさせていただきます。私は港区役所協働まちづくり推進課の扇谷です。どうぞよろしくお願いいたします。

港区区政会議につきましては、港区区政会議運営要綱の規定により 3 つの部会を設けておりますが、本部会は防災・防犯・まちづくりに関する専門的な意見交換をいただくため開催させていただくものでございます。それでは早速ですが、会議に先立ちまして、山口区長からひと言ご挨拶申し上げます。よろしくお願いします。

○山口区長 みなさん、こんばんは。お忙しい中、また、ちょっと寒いのが続く中、集まっていただいております。本日は安心安全・まちづくり部会の令和 6 年度最後の開催となります。委員の皆様からは令和 7 年度の予算案、また港区エリア別活性化プランの更新案についてご意見いただきたいと思いますのでどうぞよろしくお願いします。

もう 2025 年スタートして 2 か月となりますけども、もう万博が迫っております。結構いろいろ気持ちもあせっているところです。皆さんチケットは買われましたでしょうか？買いづらいというお声もたくさんいただいておりますが、ぜひとも買っていただきたい。私はとりあえず初日に家族 4 人分を買いましたけれども、あとはフリーパス買って仕事帰りにちょっと木製リング行ってくるわ、みたいな感じで万博行きたいなという楽しみに待っているところです。

また、2025 年は港区制 100 周年ということで、その記念もありまして、もと市岡商業高校の仮囲いのところに壁画の装飾、大きいものをしております。これは小・中学生の皆さんに私の未来・港区の未来というテーマで絵を描いていただいて、そのうちの優秀作品と、港区の名所とかいろいろなスポットをイラストにしたものですので、ぜひ近くまで行かれたときは歩いてみて欲しいなと思います。

またですね、明後日の土曜日 3 月 1 日に JR 弁天町駅の新しい駅舎をオープンします。もう皆さん、とりあえずカフェができてるとざわざわしていて、今日 JR の方と会っていたんですけど、もうスタバの事しか言われへんと言ってちょっと落ち込んでいました。私、途中の工事も見えていますし、この先週かな、小学生たちと一緒に見学に行って、昨日は区役所の有志と見に行ったんですけども、小学生が本当に喜んでいて、やっぱりかなりバリアフリーが進んだという風に思います。大きなエレベーターもできていたり、かなり大人数が乗れるものになっていましたし、

混雑の緩和とか利便性の向上というところを目指して、新しい駅になりましたので、また、そうやって港区がですね、世界の人をいよいよ、迎え入れる準備をしているんだなと実感しているところです。

また、防災に関しましてもこの会議の前に JR それから大阪メトロ、あと大阪ベイトワー、警察・消防の皆さんと一緒にいざという時に本当にたくさんの方が来られているタイミングで発災した場合、どういう連携を取るかみたいな打ち合わせもしてきたところです。私たちも一所懸命頑張ってこの 2025 年いい形で、未来と世界に開くまち港区をアピールしたいと思っていますので、皆様にも今日いろんなご意見いただいて、また、区政を前に進めることができたらと思っています。くれぐれもお一人ずつ何かしらお声を出して、言葉にして帰っていただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○扇谷協働まちづくり推進課長代理 ありがとうございます。本日の出席状況でございますが、委員の定数が 9 名のところ、ただいま 5 名のご出席を頂いております。区政会議の運営の基本となる事項に関する条例の規定による、定足数の 2 分の 1 以上を満たしておりますので、本会議が有効に成立していることをご報告いたします。

次に本会議は公開としており、後日配布資料とともに、会議録を公表することとしております。会議録の作成の為、録音させていただきますのでご了承いただくとともに、ご発言の際にはマイクをご使用くださいますよう、よろしくお願いいたします。また、会場の様子はインターネット港区 YouTube チャンネルで後日、一定期間配信する予定です。区政会議の見える化の推進としての全区的な取り組みですので、あわせてご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、前回に引き続きましてオブザーバーとして港警察署から谷口様、港消防署からは牧野様にウェブでご参加いただいております。本日もどうぞよろしくお願いいたします。

続きまして、本日の配布資料の確認をさせていただきます。お手元に本日の次第「令和 6 年度 第 3 回港区区政会議 安心・安全まちづくり部会次第」、一枚ものの資料です。それから「資料一覧表」。「安心・安全まちづくり部会委員名簿」。安心・安全まちづくり部会本日の「配席図」。A3 横長の資料ですけどもカラー刷りで「港区エリア別活性化プラン（令和 7 年（更新案） 概要版」。「国道 43 号弁天町駅前第二地下道のエレベーターの完成について」、3 枚ほどのホッチキス止めでございます。A4 横表の「区政会議「事前意見内容と区役所の対応・考え方」（安心安全・

まちづくり部会関係 抜粋)」。A4 カラー縦の「JR 弁天町駅橋脚部分の壁画(落書き)の消去について」。A4 横の「西・港エリア オンデマンドバス運行概要」。「オンデマンドバス ガイドブック」。以上の資料につきまして本日配布させていただいております。また、先日事務局より事前に送付させていただきました資料につきましても本日、使用して議事を進めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。皆様お手元にごございますでしょうか。大丈夫でしょうか。不足等がございましたら仰ってください。大丈夫でしょうか。

議事につきましては次第の通りでございますが、委員の皆様には事前にご意見を頂戴しておりましたが、本部会以外からのご質問につきましては担当する部会において区役所の対応・考え方をご説明するとともに、別途全員に回答をご送付させていただきますので、ご確認くださいようよろしくお願いいたします。

各議事の説明の方は短めにさせて頂きまして、議論や質疑を長めにとってまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは議事に移りたいと思います。ここからは山岸議長に議事進行の方をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

○山岸議長 はい、それではみなさんこんばんは。議長の山岸です。ここからは議長として進行役を務めさせていただきたいと思います。皆様から積極的にご意見をいただき、活発な議論をしていきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

ここで私事ですけども、今年の2月はとても寒くて雪がちらつく中、先週は大阪マラソンがありまして、その時も雪がちらついていて、その中をね、がんばってランナーの皆さん走っているなと思っていました。2月はちょっと辛いと思うんですけども、すいません、今日私、ひょっとしたら1人かもしれないですけども何人かいらっしゃいます、マスクをさせて頂いています。花粉症なものでマスクをしているんですけども、ちょっと寒い2月は、まだちょっと花粉がやってきていないのでありがたいなと思っています。では、マスク姿で失礼いたします。

では、早速ですけども議題1の「令和7年度 予算(案)について」区役所より説明をお願い致します。

○西堂協働まちづくり推進課長 協働まちづくり推進課の西堂です。

それでは事前配付資料【A-1】「令和7年度港区関連予算(案)概要」をご覧ください。A4の横になっているものです。事前配付資料【A-1】です。大丈夫でしょうか。事前に資料を配付させていただいております、お目通し頂いているかと思い

ますので、簡潔にご説明させていただきます。

1 ページ目に令和 7 年度港区関連予算案概要として、港区全体の予算を記載しています。2 ページ目以降に令和 7 年度に重点的に取り組む事業を記載しています。当部会でご意見いただく予算案につきましては、1 枚めくっていただきまして、3 ページ目に記載しております港区エリア別活性化プラン等の推進、それから学校跡地を活用したまちの活性化事業が該当いたします。

続きまして、次に事前配付資料【A-2】をご覧ください。A4 の縦のものになります。事前配付資料【A-2】になります。こちらは港区が令和 7 年度に実施をする事業および経費の内訳になります。当部会でご意見いただく予算案につきましては、1 ページ目の 2 番、地域活動協議会に対する支援事業から、9 番目の種から育てる地域の花づくり支援事業、18 番目、国道 43 号線横断支援事業から、21 番目、使用料の還付金の予算案になります。この事業名の右横に概要を記載していますので合わせてご確認ください。

次に事前配付資料【A-3】をご覧ください。事前配付資料【A-3】です。こちらは区シティーマネージャー自由経費となっております、令和 7 年度に各局が港区で実施するスポーツ施設や公園道路の管理運営などの事業および経費の内訳となっております。簡単ですが議題 1 の説明は以上となります。

○山岸議長 ありがとうございます。では、ただいまの説明について、どなたかご意見などございますでしょうか。

予算案はなかなか、ちょっと難しいかなと思うんですけども、私もいつも。減らされているところを確認したらいいのか、増えているところを確認したらいいのかというところだと思うんですけども。

○北山委員 北山です。

今、山岸議長からお話いただいた通り、この予算の話ってすごい難しくて、正直何を言ったらいいのか分からないっていうのが 1 つの意見かなと思います。きっとすごく大事なことだと思うんです。この区にどれだけのお金が投入されていて何に使われているのかっていうのって、多分いろいろ皆さん思いがあるでしょうし、必要なところに必要な分だけ使ってもらっているというのが理想なところだと思うんですけども、なかなかこうパッと金額提示されたときに何を言っているのか、中々ちょっと皆さんもすごく頭を抱えるところがあると思うので、例えばなんですけれども、金額とか数字があることなのでわかりやすくするってこれをどうこれ以上わかりやすく、できるんだろうっていうのが私も案があればいいんですけど、でもち

よっとこの会に関しては議論さえ中々ちょっと難しいんじゃないかなというのも、一つの意見としてあげさせてもらえたらなと思い、マイクを取らせていただきました。

個人的にはこの予算の事業には少しかけ離れてしまうかもしれないですけども、一人の港区でお仕事させていただいている人間として、やっぱり区内の働いてくださっている行政の皆さんの全然手が足りてないところが、すごく思っているところで、いろんな部署でお仕事させていただいているところで残業されていたりっていうのもちらほら聞きますし、必要なところはもちろん力添え頂いているところでありがたいんですけども、できれば人を増やしてもらったりとか、ちょっとなんか手紙を入れる作業を何か機械導入してもらってもっと簡略化してもらったりとか、なんとかこう、今 AI の時代ともいわれていますので、それと共存しながら、本当にマンパワーが必要なところには割いてもらって、削減してもらおうところは削減してもらおうっていうようなことにしてもらおうほうが、いつも区役所の窓口って辛いような人の顔を見るのも、私も辛くなって思いながらなので、出来れば色んな部署に人を増やしていただくっていうことも1つ、お願いしたいなっていうところも思いながら拝見させていただいてました。以上です。

○山岸議長 ありがとうございます。確かに、予算を減らすのも大事ですけども、本当に人の手が必要なところは増やしていくっていうそういうところ、この表見ながらも、確認していったら良いのかなと自分自身の見方として今、勉強にさせていただきたいなと思いました。

○西堂協働まちづくり推進課長 ご意見ありがとうございます。確かに、この事業の一覧を見て、数字を見て、なにかご意見っていうのは本当に難しいところかなという風に承知をしております。当方の事業で言いますと、4番のコミュニティ育成支援事業なんかでいうと、かなり480万ほど減額をしているんですけども、これにつきましては、6年度は万博の機運醸成っていうことで区民まつりですとか、さまざまなコミュニティイベントで万博の啓発をさせていただいております。啓発物品を調達したりですとか、そういったところで6年度は使用したんですけども、7年度につきましては、もう万博はスタートしておりますので、そういった形で減額をしているっていう、そういうことであったりですとか、6番の地域防犯、安全対策でいいますと20万程の減ですけども、さまざまな経費の見直し、また防犯パトロールの車両の整備の関係ですとか、そういったところでちょっと減ってたりですとか、そういったものが重なっております。区長自由経費では6年度4億5千

万の金額に対して、7年度は8億4千万という金額になっておりますが、これにつきましては資料【A-2】の最後のほうですね、裏面めくっていただきますと、区政推進基金積立金っていうのが入っております。これは6年度当初予算は0でしたけれども、7年度予算案で3億5万3千程計上しております。これにつきましては、交流会館の積立基金というのが7年度に組み入れられるということで、6年度と比較をして7年度は、大きな予算となっております。

○山口区長 気にかけていただいております。実際その部署、北山委員がご関係のある部署は、かなりハードな面も、時期的にハードな面もあるところですので、なんとかしたいなという思いはあります。これも永遠の課題なんですけど、やっぱり行政、私は民間から行政に来まして、毎年のようにやっぱり人員を削られていくというか、そういう状況にあったりとかしてはいますし、一方でつけないといけないというか、政策判断が行われたところには人が増えるというような局面も、増えるといってもまたこれがね、正規雇用じゃなかったりとか、会計年度であったりとかそういうような課題ももちろん専門職であっても、色々あるところなんです。その辺の課題もみんな理解して訴える、やっぱり私たちなりにも伝えていますし、あまり市民の方にそう言っていただけることはないので、人をもっとつけたげてって言われたのはたぶんあまり聞かなかったもので、ちょっと嬉しかったです。実際に本当に福祉人材、特にね、区の社会課題はどんどん変わっていったって、高齢化もどんどんまた進んで行く中で、必要な人材というものに関してはしっかりと要望もしながら、中での工夫もしながら進めて行きたいなという風に思います。ありがとうございます。

○山岸議長 他にどなたかご意見ございましたら、この予算に関してですけれども。もし他にないようでしたら、次の議題の2番目に入っていければと思います。

○細江エリア開発推進担当課長 では、議題の2番目の港区エリア別活性化プラン更新案について、エリア開発推進担当課長の細江より説明させていただきます。事前に更新案の資料は、郵送させてもらっていたかと思いますけども、かなりボリュームもありますので、本日記らせてもらっています概要版に沿って説明のほう、簡潔に出来たらと思います。

エリア別活性化プランなんですけども、現行のプランが令和3年4月に策定しております、その時の策定の趣旨としましては、2025年の大阪万博に向けて港区のまちづくりを3つのエリアの特色あるまちづくりを進めるっていうコンセプトでつくってきたプランになるんですけれども、早いものでいよいよもう万博の年

に来たってということで、その目標年の2025年、令和7年の目標年に来たっていうこともありますので、これまでの取り組みを踏まえながら万博、そして万博以後のIRを見据えたまちづくりのプランとして今回、更新案としてお示しさせていただいています。概要版の1枚目はプランの策定目的とか港区全体のまちづくりの方向性、それと3つの東部・中部・西部のエリアの現況の分析を書かせていただいているんですけれども、ちょっとざっくりといきます。

まず東部エリアは弁天町駅を中心として、港区の交通の要所地でもあります、ベイタワーをはじめとする、港の玄関口としての発展、賑わいのあるまちでありますけど、そういう都心部のまちづくりを進める中でも町工場であるとか、弁天埠頭などなかなか手付かずのといえますか、再開発が必要なエリアの残っているという、そういったエリアになっているのかなという分析をさせてもらっています。その中でもやっぱり市岡商業高校の跡地の活用であるとか、また弁天町の駅周辺のバリアフリーの推進、そういった交通の課題なんかもあるエリアかなと認識しているところ です。

中部エリアにつきましては、八幡屋公園を中心とする非常に良好な住宅エリアであると認識しているところですけども、一方で少子高齢化が一番進んでいるエリアとして商店街の活性化であるとか、市営住宅の建て替えの中で、発生する余剰地、未利用地といったところも結構目立っているエリアにはなっていますので、やはり子どもを増やすような人口を増やすようなまちづくり、また学校の再編、小学校の再編もこの5年間で生じてきますので、そういった学校跡の活用なんかもこのエリアとしては取り組むべきことと考えているところです。

最後、西部エリアの現況としましては、こちらのほうは、皆さんもよくご承知のところだとは思いますが、海遊館をはじめとするウォーターフロント開発を進める中で、世界のクルーズ船が入港する、天保山岸壁であるとか、非常に国際色のあるエリアではあるんですけども、こちらのエリアも少子高齢化の進行が顕著で、築港中学校が令和9年4月に港中学と統合して閉校する流れになっていますし、また特に南エリアですね、赤レンガ倉庫とかのある南エリアは、北側と比較すると、まちの賑わいというのがなかなか生じてないエリアなんですけども、今、大阪港湾局のほうで、南エリアの再開発が、また動き出そうという動きもありますので、そういう万博やIRといった湾岸のエリアの開発ともしっかりと連動したまちづくりが必要であると認識しているところです。

2枚目がですね、その辺りのことを、港区全体の地図の中で、それぞれの東部・

中部・西部のエリアのイメージを記載させてもらってます。先程、口頭で申し上げたところを図化したイメージになっていますので、港区にある大阪メトロの3駅の中で、それぞれの駅ごとに非常に特色のあるまちづくりが、これまでもされてきたと思うんですけれど、今後より一層それぞれの個性を生かしたまちづくりを磨くことで港区全体も発展していくような、またそういった流れをこのエリア別活性化プランで示していければと考えているところです。

最後3枚目ですけども、具体的にそれぞれのエリアごとの取り組みの案として向こう5年間の、重点的に取り組むところを項目出ししているところではあります。東部エリアにつきましては、弁天町駅周辺のまちづくりというところで、特に今、港区役所のほうで1番重点的に取り組もうとしているのが、市岡商高校跡地の活用、あと弁天町駅のエリアのバリアフリー化につきましても、このあとにも説明はしたいと思うんですけれども、国道43号の横断の課題がずっと長年あったのが、地下道のエレベーター整備というのも一定進んできてますし、またJR弁天町駅のバリアフリー化っていったところも、長年取り組む中で改善されてきているところもありますがこれに留まらず、バリアフリーは継続的に取り組むことが大事だと認識していますので、今後も駅周辺の交通バリアフリーを推進していきたいと考えているところです。あと磯路の桜通りも、この2月下旬に桜の木の撤去が完了しておりまして、やはり愛されてきた桜通りということで、色んなご意見いただいたところなんですけれども、まず大阪市としては、安全な道路を確保するっていうところで、区としても、非常に苦渋の決断のところもあったんですけど、まず安全性優先ということで、一旦は桜の木は撤去っていう流れにはなったんですけども、また新たな桜通りをどうしていくかというのも、地域の人たちと一緒に考えて行けたらということで、エリアのプランにも位置付けたところです。あと中部のほうは、八幡屋公園核としたまちづくりが大事なかなと思ってまして、八幡屋公園は、指定管理制度を入れてまして、民間の色んな力もいただきながら、公園の魅力づくり、また中央体育館とか大阪プールとか、非常にスポーツ施設も充実していますので、そういったスポーツと緑といったところの取り組みっていうのを核にしながら、商店街の活性化、また市営住宅の跡地の活用、学校の再編等の廃校活用とか、そういったところで若い世代の人たちが、魅力をまた感じてもらえる様なまちづくりを中部は、重点的に進めて行きたいと考えているところです。

最後、西部エリアにつきましては、クルーズ船の入港っていうのが、万博を契機に、より一層増えていくことが見込まれてまして、そういったやはり外国人の人た

ちも楽しんでもらいながらも、やっぱり住んでいる人たちもここで暮らして行きたい、特に築港小学校の特色化であるとか、南地域の中学校の跡地を活用したまちづくりとか、また、大阪港湾局の進める水辺の再開発の動きも、しっかりと地域のまちづくりと連携して、区としても取り組んでいきたいと考えているところです。またこういうまちづくりの取り組みの方向性を持ちながら、この区政会議の中でも色んなご意見をいただきながら、このプランを向こう5年間のまちづくりの羅針盤といたしますか、まちづくりの方向性を一緒に共有しながら、順次見直しも適宜していきながら、港区のより良いまちづくりを、区政委員の皆さまと一緒に取り組んで行けたらということで、またご意見をいただけたらと思っております。説明は一旦以上とさせていただきます。よろしくお願いします。

○山岸議長 ありがとうございます。それではただ今の説明で、どなたかご意見ある方、おっしゃっていただいて結構です。東部・中部・西部と本当に港区3つに上手く分けていただいている、それぞれ特徴があると思います。私は中部のほうに住んでいるんですけども、桜通りに関しては、本当に今まであった桜が無くなって寂しいかなって思うところもありますけれども、道がやはり明るくなって、自転車で通りやすくなったなというのを感じるところを思うと、昔も良かったけどこれから先も変わったところもいいな、とそういうことも思ったりもします。気がつくビルが出来てたり更地になってたり、本当にこの1年2年で、まちの姿が所々、本当はすごく変わって行ってるなっていうのを感じています。寂しい思いもしますが、良くなってるなっていう感じもちよっとあるなと自分でも思っています。せっかくなので、プラスな感じでまちづくり見て行けばいいなと思っております。どうでしょう、どんなことでも結構なんですけども、お家の周りで変わっていくこと、もっとこうなったらいいなっていうこと、もしありましたら。

○後藤委員 良いですか。

○山岸議長 はい、どうぞ。

○後藤委員 はい、すみません、後藤と申します。私が住んでいるところは西の部分になるんですよね。西の部分は特にね、私の家からもうほとんど直線距離で何百メートルかで海です。横で色んな船の音とか汽笛が聞こえます。だからすごい海との接点っていうのが近いなっていうね。もともとは陸っていうか、内陸の南河内におったもんですから、船とかそういうようなものというのは接する機会が少なかったんですけども、地域の集会なんかでね、聞きましたけど、今細江さんがおっしゃった通り、その港湾の関係の人が地域の人なんで聞くと、去年も80隻客船が来

たと。今度は100隻来るんやということで、それはもう万博やからということで分かるんですが、100隻というたらもう何日かに1回客船が来るということですよ。実際今までは仕事していたので、昼間におることもないし平日におることもなかったのですが、ちょっと今、定年になって電車に乗ったりする機会があるんです。ほとんど、外国人の人ばかりですよ。通勤の時には日本の人が多いと思うんですよ。当然ね、行き帰りね。昼間とかちょっとそういう機会って私なかったんですけど、今ちょっとそういうので行ったり、電車乗ったりすることがあるんですよ。ほとんど日本語は聞こえません。すごい混んでいて、大阪港の駅のゲートなんかでもしょっちゅうの出入りですし、ホームのところって満杯になっていますよね。普通だったら昼間ってガラッとしているじゃないですか。全然ね、様変わりしているなというのを感じました。船も着くということで、それで豪華客船が何千人と乗ってくるわけですよ、1隻に対して。それで大体はバスで出入りしてどっか遠くへ行く人もいるかもしれませんが、万博やったらそんな遠くでもないから電車で行こうとか、横の海遊館に寄ろうとか、色んなところで活性化してね、非常にいいんですよ。非常にいいんですけれども、今まで以上にかなりの人が来て混雑すると。私はどっちかというと南地区でちょっとお話しされていた通りですね、閑散としていて静かで私は住みやすいんです。反対側すごい人通っていて、バスも通って振動するしね、うるさいしね、そういう環境で、それで尚且つ人がいっぱい通るような環境になっています。ですから、住みやすさで言うたら今のほうがいいんですけど、でもそれは経済的にはよくない。それは分かります。散歩もこの頃するようになってね、八幡屋公園の横を通ったりすると、なんかコンサートやっているんですよ。やっと終わったらダーッと人が来てね、そこらの店があるじゃないですか、レストランとかもズラッと並んでいて、すごい人が来ていて賑わっているんですよ。だからそういうような機会があつたりしたら、すごいまちは活性化してるんだなって、そういう場面ってなかなか私、今まで見る機会がなかったんですがそういったことで日によって、平日の時にも多い少ないもあるとは思いますが、特に万博の期間に対しては、外国人の人なんかの比率もかなり増えてきて、例えば築港のところでいうと、海遊館とのあいだのところがすごい混むやろなというふうに思います。それはフラワーロードじゃないけどなんか名前を付けられていたと思うんですが、それは賑やかでいいです。自転車で行ってもなかなか通れないような環境になっていてすごい人が多いです。ですので、経済的にも非常にいいんですけれども、やっぱりその生活をしている人もおられるので、そこと電車とかも乗れなくなるんちゃ

うかというような意見もちよっと聞いているんですよね。ホームも狭いですよね、満杯ですよね。ゲートできましたから、溢れているというかある時にはすごいです。待ったら毎回毎回電車来るんですけど乗客がいっぱいなんですよ。というような環境のなかで、この1年間過ごさないといけないのかなと思うんですよね。そのあともある程度賑わったらいいですよ、経済的に潤ってみんな経済的に活性化したらいいんですが、それとともに人がたくさん出入りするということなので、そういったことと上手いこと折り合いをね、合わせながらのこの1年間特に狭いところというこの1年間ですね、対応していただければ区役所の方は色々大変やと思うんですけどもお仕事で、その辺もどうぞよろしくお願いいたします。

○山岸議長 インバウンドの方と、住んでいる私たちの共存のね、ちょうどいい提案があればいいなと本当に思いますけれども、きっとそこでまたのちほど説明があるみたいな感じなんですけども、何かいい案も1つ考えていただいているみたいなので。他にどなたか2番目の議案のところご意見ございませんか。お願いします。

○上濱委員 上濱です。後藤委員のお話しと似ているところがあると思うんですけども、同じく港区って万博へ向かうちょうど通り道というところになりますので、私も地下鉄で電車で通勤してはいるんですけども、本当に日中、ラッシュ時間わず、今の段階でもですね、かなりの乗客数が増えているというところで、本番になりますと、ずっと朝から晩まで満員電車になるんじゃないかなという想像はしているというところであります。地元のやっぱりずっと住んでいる人にとっては、嬉しさ半分、迷惑半分かなというところが正直なところと思っております。私の友達とかに聞いてもですね、同じような意見で、商売儲かるけどやっぱりきついなという、うるさいとか人がいっぱい乗れないとか、そういうのを危惧しているところですので、もう対策は取られているかもしれないですけども、電車の増発だとかバスの増発だとか、そういうところでご対応いただければなと考えております。この資料とかも拝見しまして、自分も住んで10年ぐらいになるんですけども、大体イメージ一緒で、観光地と交通の拠点と真ん中に住みよい住宅地というような、この3つ本当にコンパクトに纏まっているのが港区やなというふうに思いますので、メリハリがついたらいいんじゃないかなと思っているんです。弁天町地区もっと栄えればいいと思うし、観光地の海遊館のあたりはですね、もっと観光客が来ればいいと。逆に朝潮橋周辺の地区は、本当に静かな静観なところがいいんじゃないかなというふうに思いますが、やはり集客施設があ

りますので、でかい中央体育館がありますので、イベント時になりますともうすごいことになる。周辺のお店も儲かっているんでしょうけども、すごいことになっているという状況になっています。ですので、この商業施設のキャパシティを多くするというのも1つなんですけども、分散していただくというのも1つなのかなと、それを誘導する何かがあればなと思っていますところ。

あともう2つ言いたいのが、朝潮橋の駅周辺にはなるんですけど、港晴とかです、あのあたりは公共の交通が弱い地区だなというふうに思っています、本当に車社会と思っているんです。バスも通ってはいるんですけども本数が少ないので、住民の方々はほとんど相手にしていないというふうに思いますので、このオンデマンドバスのやつを拝見したので、これはいい取り組みだなというふうに思います。

もう1つは聞きたいというか質問のところなんですけども、ちょっと不勉強で分かってなかったのが、三十間堀川の入堀の埋め立て。あとは築港地区の南のほうの埋め立てというのがあるんですけども、自分なりにも見たんですが、ちょっと何をされるのか分かっていなくて、もしこういうふうに都市計画されているとかそういうのがありましたら、教えていただきたいなと思いました。以上です。

○山岸議長 ありがとうございます。埋め立てのあとは、これから私たちの意見も踏まえて何にしようかなと、考えているところかもしれないなと思うんですけども、それについてよろしくお願いします。

○細江エリア開発推進担当課長 はい、細江のほうからご質問の回答といいますか、区のお考え方を示してきたらと思っております。

まず三十間堀川入堀の埋め立てなんですけども、そもそも元は三十間堀という川、運河というんですかね、そこからこう内陸に入る形で、元々漁船とかが停まっていたりとかするような形で使われたとは聞いているんですけども、防潮堤の高さが低かったり耐震の問題もあるということで、まずは津波対策という安全の確保をするために、本川の運河と締め切る堤防というんですかね、それを造ったので今の水面というのが、運河とも縁切りされたといいますか締め切られて、池のような形で残っている状態の部分が防災面といいますか、水面だけ残っているというのが地域にとってもあまりよくないんじゃないかというご意見も色々いただいていたところ、大阪港湾局のほうがですね、そこは基本的にはもう埋め立てて、埋め立てた後は売却なりをして、いわゆる宅地開発、そういう方向性をもって取り組もうとはしているんですけども、やはり埋め立てる以上は採算性をと

る、埋め立てた費用を回収できるような形での事業化というのをするのに、なかなか採算性をとるのが難しい面も今あるというところを聞いていまして、ただ水面のまま放置するというのもよろしくないので、区役所としても大阪港湾局と連携して、埋め立てたあとのまちづくりをどうするかというのが区役所の役割で、埋め立てをちゃんと事業としてやっていくというのが大阪港湾局という、役割分担のもとで進めて行こうということで。このプランをつくった令和3年の時からこの件を挙げているんですけども、なかなか事業化についてはまだもう少し見極めといいますか、採算性の確保をどうしていくかというところを、まだちょっと見えないところがあるということで、今後のまちづくりについては大事なところかなと思いますので、特に八幡屋のエリアとか、港晴の地域の方たちのご意見もまた聞きながら、区としてもまちづくりこの後の活用、埋め立てたあとのまちづくりをどうするかというのは引き続き検討していけたらなと、考えているところ です。

もう1つ、築港の南の埋め立てにつきましては、これも計画自体は海遊館のウォーターフロント開発された、平成2年とか3年とか、その頃からの埋め立て計画はもともと持っておったということで、北の海遊館から南の赤レンガ倉庫まで、再開発をするというビジョンを持っていたんですけども、やはりバブルの崩壊だとか財政難とかの問題もあって、休止状態がずっと続いていたところなんですけども、今回動き出したきっかけとしてはやはり万博、IR、そういったところで、大阪市が埋め立てをするのはなかなかこの間難しかったんですけども、公民連携というんですかね、民間の開発と大阪市の事業とを組み合わせることで、埋め立ての内容とかもこれからまた検討が要ということなんですけども、どちらかという水辺の活性化とか賑わいづくりの方向性で埋め立てのほうをなんとかできそうな機運も高まってきているところがあるということで、最近港湾局のほうでマーケット・サウンディングということで、再開発の可能性についての民間事業者の提案とかを受けた時に、また近々公表されるということなんですけども、サウンディングの結果で一定の希望、関心を示す民間事業者がいてるということで、またそういったところの民間事業者との事業の連携については、大阪港湾局も今後前向きに取り組みたいということ saying いまして、ただそのまちづくりのなかで、築港全体のまちづくりにも資するために、区役所の埋め立て事業とか、倉庫群の再開発のところと、後藤委員のほうでね、静かなまちに住みたいというところとの折り合いというんですかね、やっぱり賑わいも大事やけど、住

んでいる人もやっぱりずっと暮らしたいというまちづくりを、やはり区としてはしっかりとバランスいいまちづくりを進めないといけないな、というところそういう認識で取り組んでいきたいと思っているところです。すいません、ちょっと纏まりなく長くなりましたけれども。区長からもいいですか。

○山口区長 観光と暮らしの両立というのは本当に課題で、もういま他都市がパンク状態ですので、そんなにいいモデルが今ないんですよ。結構探してはいるんですが、つくっていかないといけないんだろうなと思っていて、フランスとかだともうエリア分けをしてしまう「こっから先に観光客入らないで」って暮らしのエリアですと。多分日本の距離感というか、馴染まないかなとも思いながらも、まずやらなきゃいけないなと思っているのは、マナーの向上。観光客の方にもやはり日本の暮らしというのがあるので、住む方も増えているなかでは、そういう啓発はしないといけないんだろうなと。旅の恥は掻き捨てではないんですけども、文化がやっぱり違うので、ここは例えば人がたくさん住んでいるし、夜寝ている人もいるから静かにしてくださいとかいうのを多言語で発信したりとか、そういうのは観光庁とかも結構力を入れはじめて、多言語のそういった注意書きとか、あとツーリストシップという言葉が出来ていまして、スポーツマンシップみたいに「良い旅行者になろう」。それは地元の暮らしを尊重して、地域でお金を使って貢献してそして交流をする、地元の人と交流する。だから本当に一緒に、例えば八幡屋公園で、マラソンとかちょっとジョギングしていたら、観光客の人もちょっと走ってたりとかして「どこから来たの」って、今だいぶ言語の壁というのが、ツールが発展してきているので取れてきているので会話したりだとか、私も築港のお店でご飯を食べていた時に、隣りにドイツの方が来て「なんで来たの」みたいな。グーグル翻訳を使いながら話しをしてとても楽しかったというか、いい経験をしてメールアドレスも交換したんですけども、そういう暮らしと旅の両方が両立するモデルづくりは特に必要です。

あともう1つは危機管理で、防災に関しては「おもてなし防災」といって観光客向けの多言語の情報発信もやっていますので、両方意識して務めていきたいなと色々お伺いしていただいているところです。あとは、やっぱり経済活性化しないと、働く場所ないと人住んでくれない、近くに来てくれない。あとは、色んな事業者さんが増えたり働く人が増えて、気に入って暮らして、定着して子育てしてくれたらいいなというのがあるので、まちの人口を増やすときは、基本的に関係人口を増やすというのが基本になってくるので、そういう意味では旅行に来て、

気に入る人もいるかもしれないですし、とにかく今の観光のまちにしていこうという流れを止めることは多分ないだろうと、日本全体でも大阪全体でも多分ないだろうと思っているので、良い有り方の一番番良いモデルになれたらなという想いで勉強もしていますし、皆さんの声もアイデアもいただきたいなと思っています。よろしくお願いします。

○山岸議長 それでは、もし他にご意見無いようでしたら、時間のことを言って大変恐縮なんですけども、3つ目の議題もございますので。

では次に3つ目、その他の議題ですが、イベントのお知らせなども含めてたくさんあると思いますが、一旦まとめて区役所さんに説明いただいてから、またそれについて皆さんからご意見いただきたいと思います。よろしくお願いします。

○細江エリア開発推進担当課長 エレベーターのほうを先、説明させていただきます。その他の資料で国土交通省というタイトルで資料があるかと思うんですけども、カラー刷りですかね「国道43号弁天町駅前第二地下道のエレベーターの完成」ということで、先ほどのエリア別活性化プランの説明でも触れたんですけど、国道43号の駅前交差点に地下道が南北それぞれ2つあるんですけども、そのうちの駅側の北側のほうが、沿道の住民の方にもご不便おかけしていたかと思うんですけども、エレベーター工事が完了しまして、明日の10時からエレベーターが稼働するというので、報道発表の資料のほうつけさせていただきました。このエレベーターにつきましては、かなり国道のほうも頑張っていたいて、人数でいくと27人乗り相当ということで、国のつけるエレベーターでも最大級のエレベーターということで、そういうこともありまして、また万博もそうなんですけど、自転車の往来であるとか、車いすの使用者、高齢の方も含めまして、少し国道43号の横断が改善されるのかなと考えています。また南側につきましては、このあと工事が着手されるということで、まだ時間はかかるんですけども、ようやく少し前進したのかなと考えてまして、今日の資料につけさせていただきました。私のほうは以上です。

○西堂協働まちづくり推進課長 残りにつきましては、私から説明させていただきます。まず1点目ですけれども、当日配付資料『区政会議「事前意見内容と区役所の対応・考え方」(安心安全・まちづくり部会関係 抜粋)』をご覧ください。A4の横のものです。

事前に当部会にご意見をいただいております「中央大通り、みなと通りの幹線道路では毎晩騒音を撒いて走るバイクがいます。毎晩窓ガラスを貫通して眠れな

い程になるのは異常事態です。住宅街としての港区において、騒音は許容できるものではなく、子どもの育成環境、子育て世代、現役世代にとって悪影響にしかありません。官民一体となって取り組むことはできないものでしょうか」といったものです。区役所の対応・考え方としましては、港区内の幹線道路を走るバイクに関する騒音のご相談を区役所のほうにいただいた場合には、港警察にお伝えすることとしておりまして、今回いただいたご意見につきましても、港警察に情報連携をさせていただいたところです。港警察にも同様の通報が多数寄せられており、パトカーを向かわせての注意喚起ですとか、暴走行為や正当な理由がなくエンジンを空吹かす場合は、道路交通法の規定により取締り活動を実施しているとのこと。区役所としまして、港警察と連携して、交通事故をなくす観点や安全なまちづくりを推進する観点から、例えば「交通安全運動区民大会」や「安全なまちづくり推進大会」で騒音を伴う走行を含めた交通ルールの遵守や、正しい交通マナーの実践などを呼びかけてまいりたいと考えております。こうした騒音等の情報がございましたら、まずは警察へご相談・通報いただきますようお願いいたします。本件につきまして今回出席されている港警察から補足・説明があればお願いいたします。

○谷口警部補 港警察生活安全課の谷口といいます。区役所さんが言ってた通り、警察署のほうにこのようなバイクの暴走行為の通報が入っていることは自分も確認しております。その都度、パトカー赤灯回して注意喚起したり、取締りを実施しているところであるんですけども、なかなか取締り等も簡単にはいなくて、こういった暴走行為するようなバイクというのは、警察を見たらすぐ逃げてしまったりするのが現状でありまして、それを無理に追いかけてしまったら、他の車に乗ってる方なり歩行者なりに、交通事故があってしまっただけということもあって、取締りは積極的にはしてはいるものの、難しいのが現状ではあります。ただ逃げているからそのまま、という訳にはいかないんで、のちの捜査、捜査手法はちょっと言えないんですけども、捜査でも犯人を特定して検挙したりそういった活動もしておりますので、こういったバイクの暴走を検挙・取締り警戒をするにあたって、少なくして行こうと警察署も思っておりますので、こういったご意見とか具体的な通報とかをどんどんしていただけたら警察としても動きやすいので、どんどん相談・通報よろしく申し上げます。警察署からは以上です。

○西堂協働まちづくり推進課長 続いて2点目ですけれども、当日配付資料「JR弁天町駅橋脚 壁画(落書き)の消去について」をご覧ください。令和6年2月2

6日に昨年ですね。開催された令和5年度第2回区政会議の当部会で、弁天町駅前のひまわりの壁画の落書きを消してほしいとのご意見をいただいております。このひまわりの壁画は、港高校・市岡高校の美術部の協力を得て、平成25年度から26年度にかけて作成されたもので、港区役所とJR西日本との協定により、港区役所が維持管理をすることとなっているものです。当日の部会では、これまで修復用のペンキ、備品購入の見積もり不調ですとか、予算の工面が出来ないといった状況が続き、現在に至っている。令和6年度中に再度修復用ペンキ等の予算の調整並びに購入手続きを進め、消去修復作業については、壁画作成に協力いただいた高校に改めて協力をお願いするとともに、JR西日本にも許可を得ながら作業を実施する予定と回答をさせていただきました。今年度、ペンキ等の調達が出来まして、壁画作成に協力いただいた港高校・市岡高校にも消去修復作業について相談をしつつ、JR西日本とも修復内容について調整許可を得ることが出来たことから、2月8日に壁画の消去作業を港警察署のほうにもご協力いただきながら実施をしましたのでご報告をいたします。写真に実施前と実施後の状況を掲載しておりますのでご確認下さい。

続きまして3点目はイベントのご案内になります。事前配付資料【D-2】と【D-3】でございます。

まず第18回こどもパラダイスです。カラー刷りのA4のチラシになっております。第18回こどもパラダイスということで、こちらは3月20日 木曜・祝日 11時から開催いたします。みんなで楽しめるこども向けのイベントとなっております。もう1枚ですね、防災ロゲイニングということで、これは3月8日の土曜日、お昼の1時から開催いたします。ロゲイニングは、地図を用いてチェックポイントを制限時間内に出来るだけ多く回って、獲得したポイントの合計得点を競うスポーツです。津波の避難場所をチェックポイントにすることによりまして、津波対策をはじめ防災への意識を高めていただくことを目的としております。こういった2つのイベントを3月に実施をいたします。

最後になりますけれども、オンデマンドバスの運行の紹介です。こちらは当日配付資料になっております。A4の横のものとパンフレットをつけさせていただいております。こちらにつきましては、広報みなと2月号にも掲載をさせていただいておりますけれども、1月27日から10月31日まで期間限定になります。が、港区でオンデマンドバスが運行されています。先ほどご質問にもありましたけれども、万博の期間中、メトロ中央線で多くのお客様のご利用が見込まれるこ

とから、万博期間中の中央線エリアのお住いの方々の交通利便性の向上を目的に運行されるものです。このオンデマンドバスにつきましては、アプリですとかLINE・電話での予約が可能となっておりますので是非ご利用いただきたいというふうに思っております。詳細は公式サイトをご覧くださいというふうに思っております。説明は以上です。

○山岸議長 ありがとうございます。では、この3つ目の説明それ以外でも結構です。今まで聞いていただいた中で、ご質問求められても結構ですし、ご自身のご意見を述べていただいても結構です。何か聞きたいこと、自分の思い、ご自身の思いとかございましたら伺いたいと思いますけども、いかがでしょうか。

この落書きを消していただいたところなんですけども、実は私のほうが折角 JR 弁天町、綺麗な駅なんですけども、そこの本当はお花の絵もすごい気に入ってたんですけれども、残念ながら酷い落書きがされてしまって、出来れば自分の住んでる街は落書きがないほうが良いなと思って「消すこと出来ますか」と前にお願いしていましたところ、今回それが叶って、グレーの色に綺麗に塗っていただいたんですけども、本当にもし機会があったら、またもう一度、可愛いお花の絵かなにか明るくなるような絵を描いていただいても、また港高校の方にお問い合わせ出来たらいいなと心の中では思っております。

ほかにいかがでしょうか。オンデマンドバスのことでも結構ですし、ご自身の住まわれている地域のこともなんでも結構です。

○上濱委員 すいません。この落書きなんですけども、大正駅の辺りのこの岸壁といいますかね、あの辺りも綺麗な絵が描いてあるのに落書きだらけということで、やっぱり大都市はしょうがないというか、こういう落書き犯罪というか悪戯というかしょうがない、いたちごっこになってしまうんじゃないかなというふうに思っております。かえって綺麗な絵を描いてもまた汚されてしまうんじゃないかなというふうに思います。ちょっと本当に聞きかじりな感じなんですけども、そういう汚れが簡単に落ちるという塗料をなんか開発されているところがあると聞きましたので、もしそういうので絵を描くとか、綺麗に塗ってしまうとすると、あとあとスプレーで塗ったとしても綺麗に落ちるんじゃないかなというようなのをちょっと今頭の中で浮かびましたので、もしよろしかったらそれも調査していただければなというふうに思いました。以上です。

○西堂協働まちづくり推進課長 ご意見ありがとうございます。

○山岸議長 ありがとうございます。全体を通してご意見ございませんようで

したら、時間も参ったようですので、この辺で一度閉めさせていただきたいと思
います。本日は皆さまのご協力のおかげをもちまして、スムーズに会の運営が出
来ました。これからも区民の意見やニーズを区役所に是非反映していきたい、聞
いていただきたいと思いますので、ご協力のほうこれからもどうぞよろしく願
いいたします。では進行を区役所さんのほうに戻したいと思います。お願いしま
す。

○扇谷協働まちづくり推進課長代理 山岸議長、議事進行ありがとうございます
た。また委員関係者の皆様、円滑な会議運営にご協力いただきましてありがとう
ございます。追加のご意見や、ご質問がございましたら全体会議の際にも承りま
すので、よろしくお願いいたします。

港区区政会議 全体会議につきましては、すでにご案内申し上げております通
り、来たる3月13日 木曜日 午後7時より同じくこの場所で開催いたします。
次の全体会議につきましても前回同様テーマを絞って、委員の皆様のあいだで事
例共有や意見交換を行っていただく予定としております。テーマにつきましては
「青少年指導員活動の活性化に向けて」です。昨今各種の地域団体ともに、担い
手不足が課題となっておりますが、とりわけ青少年指導員の活動につきまして
は、今年度2月7日に実施いたしました、区役所と青少年指導員との意見交換会
において、多くのご意見をいただいております、区としても重要な課題と認識して
おりまして、全議員での意見交換をお願い出来ればと考えております。つきまして
は正式なご案内は、別途メール等にてご連絡させていただきます。お忙しいとこ
ろ誠に恐縮ですが、ご出席いただきますようよろしくお願いいたします。それで
は、これを持ちまして令和6年度 第3回港区 区政会議 安心安全・まちづくり部
会を終了させていただきます。本日はどうもありがとうございました。